

一 竹至之... 地... 倒... 子... 山... 子...
 一 到... 地... 子... 山... 子...
 一 子... 山... 子... 山... 子...
 一 子... 山... 子... 山... 子...
 一 子... 山... 子... 山... 子...

六月廿八日

晴

七月... 天... 雷

一 四... 中... 夜... 大... 山... 也... 布

一 午... 中... 印... 印... 之... 化

一 中... 高... 年... 尔... 新... 通... 方... 知... 古... 信... 是... 天... 不... 自... 身...
 一 中... 高... 年... 尔... 新... 通... 方... 知... 古... 信... 是... 天... 不... 自... 身...
 一 中... 高... 年... 尔... 新... 通... 方... 知... 古... 信... 是... 天... 不... 自... 身...

日北... 晴... 天... 晚... 景... 大... 雨... 大... 雷

一 山... 云... 天... 有... 云... 雨... 云... 雨... 云...
 一 山... 云... 天... 有... 云... 雨... 云... 雨... 云...

一 午の御月夜方切ふゆり

七月朔 晴天 日青 四坐所

無徳

一 七の体 瑞雲 御月夜方切ふゆり

一 大原 下 中事 御月夜方切ふゆり

一 列の云々 御月夜方切ふゆり

一 了才 御月夜方切ふゆり

日二

一 少三合

一 中切 御月夜方切ふゆり

一 海 御月夜方切ふゆり

山

一 園 御月夜方切ふゆり

一 夕 御月夜方切ふゆり

一 夜 御月夜方切ふゆり

一 古 御月夜方切ふゆり

七月三日

晴久 晴方少雨

一 養老方々の園子平一園方少雨

一 神心丹之九座方少雨

一 養老方々の園子平一園方少雨

一 養老方々の園子平一園方少雨

王代自是抄多了是中任抄前

一 養老方々の園子平一園方少雨

一 養老方々の園子平一園方少雨

一 養老方々の園子平一園方少雨

口字

晴久

一 養老方々の園子平一園方少雨

一 養老方々の園子平一園方少雨

一 養老方々の園子平一園方少雨

一 養老方々の園子平一園方少雨

一 養老方々の園子平一園方少雨

一 養老方々の園子平一園方少雨

一 養老方々の園子平一園方少雨

一 杉外七打不形也
 形也之元形也
 以細産自是而
 乃古之是也
 p. 111

一 日美分都心丹之
 一 川方高在之

一 川方高在之

二月廿日 癸

一 去後隊方真守守名

此方 蘇末ん
 去

一 今或の更也
 一 今或の更也

一 今或の更也

一 今或の更也
 一 今或の更也

一 今或の更也

一今九日... 國幣... 一...

七月六日 晴

一午中... 一...

一... 一... 一...

一... 一...

一... 一... 一...

七月七日 晴

八月八日 晴

一... 一... 一... 一...

一 此回能去之工書之書名如後乃之目下
午の勢に南極子流之書古冊に之書

七月九日 明大

一 此書粗山冊之之白布方山月書乃
一 中切首年〇勢に流之書乃之書
一 國之書也 七〇下之書今乃之書

日十日 明大

一 此書粗山冊之之白布方山月書乃
勢に南極子流之書古冊に之書

一 此書粗山冊之之白布方山月書乃

一 此書粗山冊之之白布方山月書乃

一 此書粗山冊之之白布方山月書乃

一 此書粗山冊之之白布方山月書乃

全乃之書也

七月十日 晴

一 昨日早八時頃、秋葉野別所、林山
 燒鳥根、草木山、河洗、又古井、後、
 秋葉野、於八人、白茅、方丈、山、古井、接人
 古井、山、河洗、山、河洗、山、河洗、
 一 河洗、山、河洗、山、河洗、山、河洗、
 山、河洗、山、河洗、山、河洗、山、河洗、

一 修村、不、集、高、秋、野、別、所、林、山、
 河洗、山、河洗、山、河洗、山、河洗、
 山、河洗、山、河洗、山、河洗、山、河洗、

一 未、
 一 山、河洗、山、河洗、山、河洗、山、河洗、
 一 山、河洗、山、河洗、山、河洗、山、河洗、
 一 山、河洗、山、河洗、山、河洗、山、河洗、

七月十一日 曇

一 夜半午の聲を流す如きは

一 宿の品を能く而於林園中 一 葉梅

角也 一 美しき花を以て之を十八日嘉

中月夜に於て相送る人想状也

一 梅梅角也 一 美しき花を以て之を十八日嘉

中月夜に於て相送る人想状也

一 雪中暖島山林也 一 長江 一 舟便小

舟也 舟中十八人 舟中十八人 舟中十八人

舟中十八人 舟中十八人

一 雲霧初山 舟中十八人 舟中十八人

一 舟中十八人 舟中十八人

一 舟中十八人 舟中十八人

一 舟中十八人 舟中十八人

一 舟中十八人 舟中十八人

七月十三日

晴

口十字

晴

晴

口十字

一 晴

晴

口十字

晴

口十字

晴

口十字

晴

一 晴

一 晴

晴

一 晴

一 晴

一 晴

晴

一 晴

七月廿日 酉天

一 年○
一 岁
一 月
一 日
一 时
一 刻
一 分
一 秒
一 毫
一 厘
一 微
一 纤
一 沙
一 渺
一 漠
一 莽
一 苍
一 茫
一 混
一 沌
一 溟
一 涬
一 茫
一 漠
一 莽
一 苍
一 茫
一 混
一 沌
一 溟
一 涬

口七日 酉天

一 年
一 岁
一 月
一 日
一 时
一 刻
一 分
一 秒
一 毫
一 厘
一 微
一 纤
一 沙
一 渺
一 漠
一 莽
一 苍
一 茫
一 混
一 沌
一 溟
一 涬
一 茫
一 漠
一 莽
一 苍
一 茫
一 混
一 沌
一 溟
一 涬

本草云... 可也... 以...
丹

一 藥名 藥丹之... 白... 方... 直... 丹...

一 白... 丹... 藥... 丹... 丹...

七月廿二日 寫... 丹...

一 此... 丹... 藥... 丹... 丹...

一 藥... 丹... 藥... 丹... 丹...

一 藥... 丹... 藥... 丹... 丹...

一 藥... 丹... 藥... 丹... 丹...

一 藥... 丹... 藥... 丹... 丹...

一 藥... 丹... 藥... 丹... 丹...

一 藥... 丹... 藥... 丹... 丹...

一 藥... 丹... 藥... 丹... 丹...

一 藥... 丹... 藥... 丹... 丹...

一 藥... 丹... 藥... 丹... 丹...

丹

一 楷柳向也非此類以之其方... 山... 其...
以格中致每起上格... 所地... 其...

一 年... 國... 中... 一... 數... 漢... 方... 每... 其... 友...

一 皇... 朝... 山... 冊... 之... 白... 書... 以... 上... 以... 其... 部...

七月廿二日 晴

一 年... 與... 半... 數... 其... 漢... 方... 每... 其... 友...

一 山... 冊... 之... 白... 書... 以... 上... 以... 其... 部...

一 皇... 朝... 山... 冊... 之... 白... 書... 以... 上... 以... 其... 部...

一 山... 冊... 之... 白... 書... 以... 上... 以... 其... 部...

日廿六日 晴

一 年... 與... 半... 數... 其... 漢... 方... 每... 其... 友...

一 山... 冊... 之... 白... 書... 以... 上... 以... 其... 部...

一 皇... 朝... 山... 冊... 之... 白... 書... 以... 上... 以... 其... 部...

七月廿六日

晴

一 自甲午推同午之秋本後亦動定友

一 甲午仁在後少定親者中少如後亦

以道本 括親 壯年 壯德 壯

一 吳地回親者 友 白事方 以上諸事

一 午之 初 亦 括 壯 年 壯 德 壯

壯年 壯德 壯年 壯德 壯年 壯德

壯年 壯德 壯年 壯德 壯年 壯德

壯年 壯德 壯年 壯德 壯年 壯德

壯年 壯德 壯年 壯德 壯年 壯德

壯年 壯德 壯年 壯德 壯年 壯德

壯年 壯德 壯年 壯德 壯年 壯德

壯年 壯德 壯年 壯德 壯年 壯德

壯年 壯德 壯年 壯德 壯年 壯德

壯年 壯德 壯年 壯德 壯年 壯德

一 ありては...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

一 少...
...
...
...
...
...

...
...

一 高...
...
...
...

一 ...

一 ...

一 ...

...
...

石...
...

けりししうき法候しぬる事

し
し
し
し

一 國守中 三田村午の野に 國守御書

一 今 一 山守御書

一 今 一 山守御書

一 今 一 山守御書
一 今 一 山守御書
一 今 一 山守御書
一 今 一 山守御書

日九八日 西文

一 山守御書

一 山守御書

一 山守御書

一 山守御書

山守御書
山守御書

一 山守御書

七月廿九日

晴

一 此本八日所月始... 極自極自極... 極自極自極...
 一 孫極子極... 極自極自極... 極自極自極...
 一 孫極子極... 極自極自極... 極自極自極...
 一 孫極子極... 極自極自極... 極自極自極...
 一 孫極子極... 極自極自極... 極自極自極...
 一 孫極子極... 極自極自極... 極自極自極...

八月朔日

晴

一 四里以爲... 極自極自極... 極自極自極...
 一 八前沙... 極自極自極... 極自極自極...
 一 一... 極自極自極... 極自極自極...
 一 一... 極自極自極... 極自極自極...
 一 一... 極自極自極... 極自極自極...
 一 一... 極自極自極... 極自極自極...

月... 晴

晴

晴

一 百天... 極自極自極... 極自極自極...
 一 一... 極自極自極... 極自極自極...
 一 一... 極自極自極... 極自極自極...

一 西天より山の方見ふは、
以形より見ゆ。 往來三日 多分利書

一月昔 何村高き坊に此の氣

一 山の高き年々此の坊に此の氣

上は山の高き年々此の坊に此の氣
此の坊に此の氣
此の坊に此の氣
此の坊に此の氣
此の坊に此の氣

此の坊に此の氣
此の坊に此の氣
此の坊に此の氣
此の坊に此の氣
此の坊に此の氣

此の坊に此の氣

此の坊に此の氣
此の坊に此の氣
此の坊に此の氣
此の坊に此の氣
此の坊に此の氣

一 山合山修之

一 甲山合山修之

八月四日 晴

一 山合山修之

一 山合山修之

口云日 是

一 山合山修之

一 山合山修之

一 山合山修之

一 山合山修之

一 山合山修之

一 山合山修之

一 山合山修之

つらな人よりとくしりてふ主に之は
一 高之依地有和是也之なるを是を百以
介与く之ちれはよりなき以て之を以れ
相有の何の道は事なきは其の以れ相
林休之山も山もさすたしりれれ
りせれらそくたれりる下片細
とくしりてふ主に之は
ありまはるかありけはよりなきは事なき
美石ありてあふとれり人たそふりしは
以てれれれれれれれれれれれれれれれ

八月七日 晴豊

一 泉字中 筆の如く 山 雲 花 池 音 妙 之 城

口ハハ 晴人
一 羨りあふるを 筆 舞 是 出 印 今 以 之 所
一 羨りあふるを 筆 舞 是 出 印 今 以 之 所
一 羨りあふるを 筆 舞 是 出 印 今 以 之 所
一 羨りあふるを 筆 舞 是 出 印 今 以 之 所
一 羨りあふるを 筆 舞 是 出 印 今 以 之 所

八月九日 晴

一 吳昌碩畫蓮花月夜詩一首 裝在冊中

一 池田龍士在東京畫之古寺所畫之古寺圖

括田三郎畫一古寺圖初在河內社外

少人之古寺圖在角物子畫方畫也

一 八月十日 晴

八月十日 晴

一 伏見畫社代會之日中上夜生畫

永正長畫之年年合掛代會之日中

長正長畫之日中合掛代會之日中

長正長畫之日中合掛代會之日中

長正長畫之日中合掛代會之日中

長正長畫之日中合掛代會之日中

長正長畫之日中合掛代會之日中

長正長畫之日中合掛代會之日中

長正長畫之日中合掛代會之日中

以得之法而交之五經之法而代
其法而代其法而代其法而代
其法而代其法而代其法而代
其法而代其法而代其法而代

日中

書

一 報有物子海... 日中

日中

報有物子海...

一 日中

日中

書

一 報有物子海... 日中

日中

書

一 報有物子海... 日中

一 報有物子海... 日中

日中

一 報有物子海... 日中

十一

一 辰刻 具而食之 物而食之 乃食之 乃食之 乃食之

一 卯刻 具而食之 物而食之 乃食之 乃食之 乃食之

一 未刻 具而食之 物而食之 乃食之 乃食之 乃食之

一 酉刻 具而食之 物而食之 乃食之 乃食之 乃食之

一 亥刻 具而食之 物而食之 乃食之 乃食之 乃食之

二十七

一 卯刻 具而食之 物而食之 乃食之 乃食之 乃食之

二十七

一 辰刻 具而食之 物而食之 乃食之 乃食之 乃食之

卯刻 具而食之 物而食之 乃食之 乃食之 乃食之

一 未刻 具而食之 物而食之 乃食之 乃食之 乃食之

酉刻 具而食之 物而食之 乃食之 乃食之 乃食之

一 亥刻 具而食之 物而食之 乃食之 乃食之 乃食之

卯刻 具而食之 物而食之 乃食之 乃食之 乃食之

一 此書乃... 大... 一...

一 先... 此... 一...

同十九日 西人

一 此乃... 乃... 一...

麻下... 一...

一 此及... 乃... 一...

一 此... 乃... 一...

一 此... 乃... 一...

一 此... 乃... 一...

一 此... 乃... 一...

一 書德之文 淨修而名 如向家 又持書方
得而之 張也

日古日

日古日

一 少集七月 移有 淨日 本 信月 有 日
如信 今 之 移 女 位 月 移 功 人 移 功
清 力 一 七 信 高 中 也 淨 信 功 人 移 功
一 年 年 雜 有 功 子 信 有 人 之 功 功 功
有 功 功 功 功 功 功 功 功 功 功 功 功
子 賦 功 功 功 功 功 功 功 功 功 功 功
年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年
本 取 功 功 功 功 功 功 功 功 功 功 功
功 功 功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

一 古者... 曰... 曰... 曰...

曰... 曰...

一 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰...

一 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰...

一 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰...

一 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰... 曰...

一 此支村有... 子... 父... 孫... 下... 堂... 和...
 一 此支村有... 子... 父... 孫... 下... 堂... 和...
 一 此支村有... 子... 父... 孫... 下... 堂... 和...

一 此支村有... 子... 父... 孫... 下... 堂... 和...
 一 此支村有... 子... 父... 孫... 下... 堂... 和...

一 此支村有... 子... 父... 孫... 下... 堂... 和...
 一 此支村有... 子... 父... 孫... 下... 堂... 和...

一 此支村有... 子... 父... 孫... 下... 堂... 和...
 一 此支村有... 子... 父... 孫... 下... 堂... 和...

十

八月廿三日 晴

一 此支村有... 子... 父... 孫... 下... 堂... 和...

一 此支村有... 子... 父... 孫... 下... 堂... 和...

一 此支村有... 子... 父... 孫... 下... 堂... 和...

一 此支村有... 子... 父... 孫... 下... 堂... 和...

一 此支村有... 子... 父... 孫... 下... 堂... 和...

一 此支村有... 子... 父... 孫... 下... 堂... 和...

八月廿四日 晴

一 山崎の山崎屋敷に合符ありて是れは
山崎屋敷の合符に合符ありて是れは
山崎屋敷の合符に合符ありて是れは
山崎屋敷の合符に合符ありて是れは
山崎屋敷の合符に合符ありて是れは

八月廿四日 晴

一 山崎の山崎屋敷に合符ありて是れは
山崎屋敷の合符に合符ありて是れは
山崎屋敷の合符に合符ありて是れは
山崎屋敷の合符に合符ありて是れは
山崎屋敷の合符に合符ありて是れは

八月廿四日 晴

一 山崎の山崎屋敷に合符ありて是れは
山崎屋敷の合符に合符ありて是れは
山崎屋敷の合符に合符ありて是れは
山崎屋敷の合符に合符ありて是れは
山崎屋敷の合符に合符ありて是れは

八ノ支シ。 昭天

一合之取之

此は乃其言に平定なり。 昭天

昭天
昭天
昭天
昭天
昭天

左ノ支子より。 昭天

一 秋休。 昭天

昭天

一 昭天

一 昭天

昭天

昭天

昭天

一 昭天

昭天

昭天

一 昭天

昭天

一 唐の古村格角概角多の山位合
院文平列に孫女紙江平の格人
付る古字以全に与る位之成也

一 今古の山位合

一 山位合の山位合

一 山位合の山位合

一 山位合の山位合

六月廿八日 西天

一 山位合の山位合

一 山位合の山位合

一 山位合の山位合

一 山位合の山位合

一 山位合の山位合

一 山位合の山位合

一 山位合の山位合

一 山位合の山位合

一 山位合の山位合

一、此本有... 月... 日... 年...
 ... 月... 日... 年...
 ... 月... 日... 年...

八月廿九日 曇

一、此本有... 月... 日... 年...
 ... 月... 日... 年...
 ... 月... 日... 年...

古... 月... 日... 年...

口... 日... 曇

一... 月... 日... 年...

九月... 日... 曇

口... 日... 曇

一... 月... 日... 年...

九月三日

西天

一 昨廿三日乘舟由西天為 轉東回京 往中
一 後河 舟中 宿 以 月 夕 之 夜 甚 為 寂 寞 矣 言
子 亦 打 也 也 舟 中 亦 有 舟 人 往 來 十 日

一 昨廿四日 乘舟 由 西 天 為 轉 東 回 京 往 中
一 後 河 舟 中 宿 以 月 夕 之 夜 甚 為 寂 寞 矣 言
子 亦 打 也 也 舟 中 亦 有 舟 人 往 來 十 日

一 有 某 村 植 桑 山 中 村 未 八 月 旬 中 亦 有 某 村 在 子

抄

口字 晴天

一 昨廿五日 乘舟 由 西 天 為 轉 東 回 京 往 中
一 後 河 舟 中 宿 以 月 夕 之 夜 甚 為 寂 寞 矣 言
子 亦 打 也 也 舟 中 亦 有 舟 人 往 來 十 日

一 昨廿六日 乘舟 由 西 天 為 轉 東 回 京 往 中
一 後 河 舟 中 宿 以 月 夕 之 夜 甚 為 寂 寞 矣 言
子 亦 打 也 也 舟 中 亦 有 舟 人 往 來 十 日

一 昨廿七日 乘舟 由 西 天 為 轉 東 回 京 往 中
一 後 河 舟 中 宿 以 月 夕 之 夜 甚 為 寂 寞 矣 言
子 亦 打 也 也 舟 中 亦 有 舟 人 往 來 十 日

國

一 此處之文字乃...
 一 此處之文字乃...
 一 此處之文字乃...
 一 此處之文字乃...
 一 此處之文字乃...

九月八日 晴

一 此處之文字乃...
 一 此處之文字乃...
 一 此處之文字乃...

九月九日

晴

...

山崎之とては、
山崎之とては、

山崎之とては、

東九島

山崎之とては、

山崎之とては、

一、山崎之とては、
山崎之とては、

山崎之とては、
山崎之とては、

山崎之とては、

一、山崎之とては、
山崎之とては、

九月十二日 曇

一 定方如物定微淡乃古中味系亦如
復何如教改五舟以系此系亦如

一 國字中繁雜沙寫中狀以意所行如
百段如形上為四形本此其目如白如如
初者是形有千余之何之之之之之
以中更如形如或亦不若之之之之
為中平流如之之之之之之之之

形中更系亦如之之如如亦亦亦亦
之之之之之之之之之之之之之之
形中更亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦
以中更亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦
以中更亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦
以中更亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦
以中更亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦
以中更亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦亦

同字寫之 略

同字寫之 略 沙林 曉宗 寫

一 此は信長公の御子孫に在るに村長公の御子孫に在るに
之より子孫に在るに甲山信長公の御子孫に在るに
馬車に在るに

日十古。雲

一 此の御子孫に在るに村長公の御子孫に在るに
村長公の御子孫に在るに甲山信長公の御子孫に在るに
馬車に在るに
一 此の御子孫に在るに村長公の御子孫に在るに

リナセ。晴天

一 此の御子孫に在るに村長公の御子孫に在るに
村長公の御子孫に在るに甲山信長公の御子孫に在るに
馬車に在るに

一 此の御子孫に在るに

村長公の御子孫に在るに
甲山信長公の御子孫に在るに
馬車に在るに
一 此の御子孫に在るに
村長公の御子孫に在るに
甲山信長公の御子孫に在るに
馬車に在るに

一 此の文は... 法... 徳...

一 此の文は... 法... 徳... 徳...

此の文は... 法... 徳...

一 此の文は... 法... 徳... 徳...

一 此の文は... 法... 徳... 徳...

一 此の文は... 法... 徳... 徳...

一 此の文は... 法... 徳... 徳...

九月廿一日 晴

一 定方物定限後乃上志乃長門山松南
移子中仍與之無保身之難其居在結
々々長海 集集土日

一 定方物定限後乃上志乃長門山松南
且此後乃與之無保身之難其居在結
々々長海 集集土日

日正、晴天

日正、晴天

一 自與年方動身之日始而門第事
始年改乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
二 且今乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 且今乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一 且今乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

いふ少くは休むは其の信ふは其の信ふ
たしむるは其の信ふは其の信ふ
子多るは其の信ふは其の信ふ

九月廿七日 晴天

一 是等事年方如く其の中は其の中
折る事年方如く其の中は其の中

一 折る事年方如く其の中は其の中

口廿七日 晴天

一 折る事年方如く其の中は其の中

此の如くは其の信ふは其の信ふ
折る事年方如く其の中は其の中

口廿七日 晴天 大霜

口廿七日 晴天 大霜

一 折る事年方如く其の中は其の中

口廿七日 晴天

一 折る事年方如く其の中は其の中
折る事年方如く其の中は其の中

おれら先きに病刻お止さす物に
只何事かては向ひて

口太く 可天

一 奥平山に高き古也古徳平平徳也

一 徳平山に高き古也古徳平平徳也

一 古徳平山に高き古也古徳平平徳也

一 只何事かては向ひて

一 只何事かては向ひて

一 只何事かては向ひて

一 只何事かては向ひて

一 只何事かては向ひて

一 只何事かては向ひて

一 只何事かては向ひて

一 只何事かては向ひて

十月朔 晴天

一 只何事かては向ひて

一 只何事かては向ひて

十月廿八日

晴天 大書

一 鼻半、个角と、老と信、中、
冬、月、影、見

一 少、空、彩、是、山、佛、塔、年、
一、空、の、所、用、の、所、
此、の、所、也

口、中、
書、天、東、南、文

一 ち、ゆ、り、の、さ、さ、り、の、
さ、さ、り、の、見、は、と、成、り、
の、也

一 此、の、所、方、也、り、
る、下、也、り、の、白、く、
と、は、さ、し、に、
一、由、山、露、る、物、さ、地、之、
此、方、是、る、中、
一、に、
一、空、の、
一、空、の、
一、空、の、

口、中、
書、天、東、南、文

一 空、の、
一、
一、
一、
一、
一、
一、

謝書のふりかへし

一 大和のふりかへし 奥の年 抄書万の得し 流
抄送し物也

一 今更の先年 抄書万の得し 物
今更の抄書 万の得し

十月廿一日

一 未の抄書 抄書万の得し 物
抄書万の得し 物也
奥の年 抄書万の得し 物也

抄送し物也

一 今更の先年 抄書万の得し 物
今更の抄書 万の得し

一 未の抄書 抄書万の得し 物
抄書万の得し 物也

一 今更の先年 抄書万の得し 物
今更の抄書 万の得し

口抄書

一 未の抄書 抄書万の得し 物
抄書万の得し 物也

一 十月八日 晴
一 十月九日 晴
一 十月十日 晴

十月八日 晴

十月九日 晴

一 十月十日 晴
一 十月十一日 晴
一 十月十二日 晴
一 十月十三日 晴
一 十月十四日 晴
一 十月十五日 晴
一 十月十六日 晴
一 十月十七日 晴
一 十月十八日 晴
一 十月十九日 晴
一 十月二十日 晴

一 十月廿一日 晴
一 十月廿二日 晴
一 十月廿三日 晴
一 十月廿四日 晴
一 十月廿五日 晴
一 十月廿六日 晴
一 十月廿七日 晴
一 十月廿八日 晴
一 十月廿九日 晴
一 十月三十日 晴

日記帳

十月廿八日 晴

一 十月廿九日 晴
一 十月三十日 晴
一 十一月一日 晴
一 十一月二日 晴
一 十一月三日 晴
一 十一月四日 晴
一 十一月五日 晴
一 十一月六日 晴
一 十一月七日 晴
一 十一月八日 晴
一 十一月九日 晴
一 十一月十日 晴
一 十一月十一日 晴
一 十一月十二日 晴
一 十一月十三日 晴
一 十一月十四日 晴
一 十一月十五日 晴
一 十一月十六日 晴
一 十一月十七日 晴
一 十一月十八日 晴
一 十一月十九日 晴
一 十一月二十日 晴
一 十一月二十一日 晴
一 十一月二十二日 晴
一 十一月二十三日 晴
一 十一月二十四日 晴
一 十一月二十五日 晴
一 十一月二十六日 晴
一 十一月二十七日 晴
一 十一月二十八日 晴
一 十一月二十九日 晴
一 十一月三十日 晴

十月廿九日 晴

一 十一月一日 晴
一 十一月二日 晴
一 十一月三日 晴
一 十一月四日 晴
一 十一月五日 晴
一 十一月六日 晴
一 十一月七日 晴
一 十一月八日 晴
一 十一月九日 晴
一 十一月十日 晴
一 十一月十一日 晴
一 十一月十二日 晴
一 十一月十三日 晴
一 十一月十四日 晴
一 十一月十五日 晴
一 十一月十六日 晴
一 十一月十七日 晴
一 十一月十八日 晴
一 十一月十九日 晴
一 十一月二十日 晴
一 十一月二十一日 晴
一 十一月二十二日 晴
一 十一月二十三日 晴
一 十一月二十四日 晴
一 十一月二十五日 晴
一 十一月二十六日 晴
一 十一月二十七日 晴
一 十一月二十八日 晴
一 十一月二十九日 晴
一 十一月三十日 晴

分在何處法亦大甚色也。尤可早後...

一 法有之在村東... 日向...

一 法有之在村西... 日向...

法有之在村東... 日向...

十月廿八

晴又寒

一 法有之在村東... 日向...

一 法有之在村西... 日向...

土屋翔

聖徳太子御

一 乞那汗王妻方山日林系末孫年〇移向移子
年〇夫〇入後負人百餘封之為妻〇元依
自移子〇内之五女及出林〇中系〇五〇〇〇
御祭〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
古〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
沙市方〇高〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

一 在正城

一 在正城 美不意 正城 坊川 此方 〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

日二日 〇〇〇

一 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇

予一令 照天

一、向... 予... 照天... 予... 照天... 予... 照天...

口字 照天

一、下... 照天... 予... 照天...

口六日 照天

口六日 照天

一、... 照天... 予... 照天... 予... 照天... 予... 照天... 予... 照天...

七月七日 晴天

一 五三五年原稿を翻刻し、新刊して、其の
抄本ありて、之を以て、其の抄本を以て、
新刊し、傳へ、上列を以て、其の抄本を以て、
一 抄本ありて、其の抄本を以て、其の抄本を以て、
至、其の抄本を以て、其の抄本を以て、其の抄本を以て、
上列を以て、其の抄本を以て、其の抄本を以て、
其の抄本を以て、其の抄本を以て、其の抄本を以て、

口八日 晴天

口九日 晴天

一 抄本ありて、其の抄本を以て、其の抄本を以て、
抄本ありて、其の抄本を以て、其の抄本を以て、
中より、其の抄本を以て、其の抄本を以て、
抄本ありて、其の抄本を以て、其の抄本を以て、
抄本ありて、其の抄本を以て、其の抄本を以て、
抄本ありて、其の抄本を以て、其の抄本を以て、
抄本ありて、其の抄本を以て、其の抄本を以て、
抄本ありて、其の抄本を以て、其の抄本を以て、
抄本ありて、其の抄本を以て、其の抄本を以て、
抄本ありて、其の抄本を以て、其の抄本を以て、

天行...

一國... 後... 一...

青月十日 書後

一 自昔年方壯年定志於此位分中
不與世爭 亦不與世爭 亦不與世爭
亦不與世爭 亦不與世爭 亦不與世爭
亦不與世爭 亦不與世爭 亦不與世爭
亦不與世爭 亦不與世爭 亦不與世爭

一 昔年壯年定志於此位分中
亦不與世爭 亦不與世爭 亦不與世爭
亦不與世爭 亦不與世爭 亦不與世爭
亦不與世爭 亦不與世爭 亦不與世爭
亦不與世爭 亦不與世爭 亦不與世爭

星

晴

一 昔年壯年定志於此位分中
亦不與世爭 亦不與世爭 亦不與世爭
亦不與世爭 亦不與世爭 亦不與世爭
亦不與世爭 亦不與世爭 亦不與世爭

口上乃 晴天

一 昔年壯年定志於此位分中
亦不與世爭 亦不與世爭 亦不與世爭
亦不與世爭 亦不與世爭 亦不與世爭
亦不與世爭 亦不與世爭 亦不與世爭

此乃... (faint vertical text)

青十三日

此

一 抄本... (vertical text)

一 抄本... (vertical text)

一 抄本... (vertical text)

口ナリ

明大

一 自... (vertical text)

一 一... (vertical text)

青木

指

一 此は此の事なりと云ふ事なり

此の事なり

一 此の事なりと云ふ事なり

此の事なり

此

一 此の事なりと云ふ事なり

此の事なりと云ふ事なり

此の事なりと云ふ事なり

此の事なりと云ふ事なり

此の事なりと云ふ事なり

此の事なりと云ふ事なり

此の事なりと云ふ事なり

此の事なりと云ふ事なり

此の事なり

一 此の事なりと云ふ事なり

此の事なり

此

一 此の事なりと云ふ事なり

為物造と名方、中流に於ては、
はれり、中流に於ては、

之、身、心、
有、天

一、子、川、也、
有、天

一、は、る、は、る、
有、天

し、中、流、に、
有、天

は、る、は、る、
有、天

一、身、心、
有、天

は、る、は、る、
有、天

し、中、流、に、
有、天

は、る、は、る、
有、天

し、中、流、に、
有、天

は、る、は、る、
有、天

し、中、流、に、
有、天

は、る、は、る、
有、天

た別格の記し様とて行はるる様
全様事と大別格品記し様と
心と知事と至る事と事と事とし
右と記し事と事と事と事とし
行はるる事と事と事と事とし

事と事と事と事とし

事と事と事と事とし

事と事と事と事とし

一 白字下 事と事と事と事とし

事と事と事と事とし

一 白字下 事と事と事と事とし

一 白字下 事と事と事と事とし

事と事と事と事とし

事と事と事と事とし

古くは...

一 古くは... 古くは... 古くは... 古くは... 古くは...

一 古くは... 古くは... 古くは... 古くは...

古くは... 古くは...

一 古くは... 古くは... 古くは... 古くは...

一 古くは... 古くは... 古くは... 古くは...

一 古くは... 古くは... 古くは... 古くは...

古くは... 古くは...

一 古くは... 古くは... 古くは... 古くは...

一 内之文

一 口之文

一 口之文

一 口之文

一 口之文

一 口之文

内之文

口之文

口之文

口之文

口之文

口之文

内之文

口之文

一 内之文

一 口之文

一 口之文

一 口之文

一 口之文

内之文

一 内之文

口之文

一 口之文

口之文

一 口之文

口之文

内之文

土月廿七日 雪後

一 庭中雪色正清 亂石散在 冰凍未解

一 名園小亭 亭中雪色 正清如練 冰凍未解

一 庭中雪色 正清如練 冰凍未解

一 庭中雪色 正清如練 冰凍未解

一 庭中雪色 正清如練 冰凍未解

雪後

一 庭中雪色 正清如練 冰凍未解

一 庭中雪色 正清如練 冰凍未解

一 庭中雪色 正清如練 冰凍未解

日七八 雪後

一 庭中雪色 正清如練 冰凍未解

一 庭中雪色 正清如練 冰凍未解

雪後 晴天

土月朔。晴天

一 庄村のまゝなる地味の山崎も海も。
夕のまゝに七時

日下。晴天

一 夕方、ち予景下見也

日下。晴天

一 夕方、ち予景下見也

一 夕方、ち予景下見也

夕のまゝに七時



潘	借入昭和
第	年
者	月
藏	日
所	
縣府	政
市郷	年
村町	号
省	林
林	慶

林政沿革調査資料

05 號 校

省 林 慶

卷之三

昭